

校長室だより

うんとこしょ
どっこいしょ

第135号 令和7年3月21日

渋谷区立原宿外苑中学校長 駒崎 彰一

原宿表参道スーパーよさこい 2025 演舞プロジェクト

本場「高知」より「よさこい」指導に来校いただきました

校長室だより第114号 <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1320122/download/document/10593061?tm=20250214084609>にてお知らせしたとおり、修学旅行・体育祭にて演舞する『この地へ〜』2年生が動画から学びマスターしつつある状況になりました。

そこで「原宿表参道櫛会」の皆さんの協力により、高知のよさこい祭りやスーパーよさこいにも出場している6名もの踊子さん（各チームで演舞指導者クラスの方々です！）に来校いただき演舞の指導をいただきました！スペシャルな企画です！





スーパーよさこいでもお馴染みの「ほにや」さんのWebサイトに「ほにやとよさこい」として、本場高知の「よさこい」の歴史がまとめられています。

ぜひ読んでから「よさこい」演舞に取組んでほしいと思います！！

<https://honiya.co.jp/pages/history>

このサイトにある冒頭部分の一部を抜粋します。

よさこい祭りがはじまったのは1954年のこと。

南海大震災、そして、高知大空襲と戦後の大変な時代に
高知の人々を笑顔にしたい、元気にしたいと、
なんとか高知商工会議所が中心となって立ち上げたお祭りです。

その当時は、まだ数百人という小さな規模で行われていましたが、
高度経済成長期になると、テレビ中継も始まり、
徐々に「高知県を代表するお祭り」として、全国に浸透し始めていきました。

元々の高知県民気質でどんどん新しいことに挑戦し、
洋楽器を取り入れたり、サンバを取り入れたり、時代時代の進化をしてきたように思います。

「踊る人も見る人も一緒に楽しめるよさこいを創る」

「人々を笑顔にしたい、元気にしたい」からスタートしたお祭りであること
「高知県民気質でどんどん新しいことに挑戦」本校の校風に合致しているということ
なぜ原宿外苑中学校で「よさこい」なのか・・・

夏の「スーパーよさこい」では、この原宿表参道の地域を代表してホストチームとして演舞することになります。

このことについて各自がしっかり考え、想いをもって演舞してほしいと思います！

今日は、鳴子の鳴らし方からスタート、よさこいの本質である「笑顔」で「元気」に楽しむ踊り方を教えていただきました！